

2015年7月28日

ファミリーネイチャークラブ バーディ
+ U50 8月イベント 参加要項

さかいし ふなといけこうえん

堺市 舟渡池公園

～ツバメのねぐらを観察しよう +コウモリや昆虫にも目を向けよう～

- ※ むくどり通信7月号掲載の太子町・聖和台では、7月26日現在、ツバメのねぐらが形成されていません。そのため、場所を舟渡池公園に変更します。あしからずご了承ください。
- ※ イベント参加の皆さんには、公益財団法人日本野鳥の会発行の「ツバメのねぐらマップ」をプレゼントします。

「大阪緑の百選」にも選ばれた堺市美原区の舟渡池公園(ふなといけこうえん)は、のどかな田園風景が広がる一角にあり、池やアシ原、常緑樹や落葉樹、茂みなど、さまざまな環境が配置され、多くの野鳥が生息しています。

今回のバーディでは、私たちの身近な場所で巣をつくり、子育てをするツバメが、夏の時期には、どこでどんなふう活動しているのかを探りましょう。日が暮れるころには、一万数千羽のツバメがあちこちから集まり、アシ原に次々と舞い降りるその姿は圧巻です。また、アシ原に生きる昆虫や小動物たちにも目を向けてみましょう。

日 時：2015年 **8** 月 **8** 日(土) * 小雨決行

集 合：午後4時 南海高野線・北野田駅 改札口

- * 南海・難波駅 15:36発(JR環状線乗換え・新今宮駅 15:38発)の河内長野行急行にご乗車ください。
- * 大阪市営地下鉄が便利な方は、御堂筋線・なかもず駅で乗り換え、南海・中百舌鳥駅 15:43発の金剛行各駅停車にご乗車ください。

コース： 北野田駅 ～ 阿弥ノ新池 ～ 舟渡池公園 (約2.7km)

解 散：午後7時30分 南海ウィングバス 黒山バス停留所

- * 黒山バス停留所 19:38分の中百舌鳥駅前行(所要約20分)に乗車します。なお、このバスは、途中、初芝駅前(所要約10分)に停車します。大阪市営地下鉄をご利用にならない方は、初芝駅前でお乗換えください。

持ち物：弁当(夕食)・水筒・帽子・雨具・タオル・名札・観察用具・図鑑

- * 直射日光・紫外線対策をお忘れなく。
- * 熱中症を予防するため、水分補給をこまめに心がけましょう。

- * 虫除けスプレー、長袖・長ズボン等、防虫対策もお願いします。
- * 念のため、家族に一つ、懐中電灯をご用意ください。

雨天の場合：小雨決行ですが、荒天の場合は、中止といたします。午後2時の段階で判断いたしますので、午後2時過ぎに担当の上村まで、お問合せください。

参加費：高校生以下は無料。引率の方は、野鳥の会会員 100円、一般参加の方 200円です。当日集めますので、ご協力ください。

担 当：浅野宏幸・駒田・上村(090-8653-9165)

<ツバメ観察のやくそく>

観察場所とツバメのねぐらが近いため、ツバメが驚くことのないよう、次の点に注意しましょう！

- 1. むやみやたらにヨシ原に近づかないようにしましょう。**
(ヨシが刈られている場所には絶対入らないこと。舗装道路の上から双眼鏡や望遠鏡で観察します)
- 2. 懐中電灯でツバメを照らしたり、フラッシュを用いて写真を撮ったりしない。**
- 3. 走り回ったり、大声を出したりしないよう、静かに観察しましょう。**

<ツバメのねぐらマップ 表紙>

ツバメのねぐらを見に行こう

ツバメのねぐらマップ

ツバメのこと

どんな鳥?
皆さんは、ツバメを見たことがありますか？夏になると、田んぼや公園、街路樹などをすいすいと飛び回っている鳥です。ツバメは、春から夏にかけて日本にやってくる渡り鳥です。春に日本に渡ってきて、秋にインドシナ半島やマレー半島、オーストラリアの北部に戻って行きます。3月上旬ごろに日本に渡ってくると、民家の軒先など、人が出入りする場所を探して巣をつくり、子育てをおこないます。あえて人の目に触れる場所で子育てをするのは、カラスやヘビなどの外敵からヒナを守るためだといわれています。このため、ツバメは、スズメと並んで最も人の生活の近くにいる野鳥であるといえます。やがて、ヒナが大きくなると巣立ち、日本から去るまでの間、エサをたくさん食べて、渡りのための準備をおこないます。そのとき、大きな川の河川敷などで集団ねぐらを形成します。体の上面が黒で、お腹が白、喉が赤いのが特徴です。日本で子育てをするツバメの仲間には、ツバメ、イワツバメ、コシアカツバメ、ショウドウツバメ、リュウキュウツバメの5種類がいます。

子育て

巣立ち

もうすぐ南へ

ツバメ

リュウキュウツバメ

コシアカツバメ

イワツバメ

ショウドウツバメ

参加された方には、このマップをプレゼントします！